しまねの土地改良だより

2023年（令和5年）
12月1日発行（Vol.139）
水土里ネット島根会報

ため池フォーラムinとっとり開催
～豊かな農村　ささえるため池～

令和５年11月９日（木）～８日（金）、「ため池フォーラムinとっとり」が鳥取県のとりぎん文化会館にて開催され、全国の土地改良関係者が集い、本県からは、関係市町、土地改良区、県土連役職員総勢24名が参加しました。今回で第26回目となるため池フォーラムは、「豊かな農村　ささえるため池」をテーマに鳥取県が主催し、鳥取県農林水産部岡垣敏生部長からは「ため池の役割を全国の方々に知って頂き、農村が育む恵と命を次世代につなげることが目的」と開催宣言がありました。続いて、主催者を代表して鳥取県平井伸治知事からは「防災の営みが大切であり、英知を結集して素晴らしい大会となることを願っている」と挨拶があり、来賓の農林水産省農村振興局整備部防災課渡部和弘室長、全国土地改良事業団体連合会由谷倫也主任研究員、鳥取県浜崎普一議会議長、全国ため池等整備事業推進協議会宮崎雅夫副会長（参議院議員・オンライン）から祝辞が述べられました。

その後、鳥取大学農学部清水克之教授より、ため池の防災・減災をテーマとして、ため池の緊急放流装置や早期警報システムの開発、ため池の低水管理に関する調査研究についての基調講演、農林水産省農村振興局整備部防災課中司昇吾課長補佐より、「ため池の防災・減災対策の取組状況について」情勢報告、鳥取県農林水産部農地・水保全課、鳥取県ため池サポートセンター、天神野土地改良区、久米ヶ原土地改良区より事例発表が行われました。

最後に、次回（第27回）開催県の秋田県農林水産部大山泰次長が、来年は里地・里山や伝統的な農村文化が数多くある秋田の魅力を提供したいと挨拶、鳥取県土地改良事業団体連合会榎本武利会長の閉会挨拶で１日目のフォーラムを閉会しました。

２日目は、鳥取県西伯郡大山町で水上太陽光発電を実施している松尾ため池の現地視察が行われました。視察時、水抜きされたため池は、太陽光パネルの設置状況が詳細に分かり、水位変動への対応、太陽光パネルの反射光による近隣への影響を考慮するなどの説明を受け、知識を深める見学会となりました。

◆ ため池フォーラムinとっとり開催 ･････････････････････････････････････ 1
◆ 農業農村整備の集い　開催 ･･･ 2
◆ 令和５年度 基幹水利施設省エネルギー化技術実践向上研修会の開催 ･････････ 3
◆ 令和５年度全国水土里ネット女性の会研修会 ･････････････････････････････ 3
◆ 令和５年度　第２回しまね水土里女性の会研修会開催 ･････････････････････ 4
◆ 12月の主な予定 ･･･ 4

農業農村整備の集い　開催

－農を守り、地方を創る予算の確保に向けて－

主催者挨拶（二階会長）

11月７日（火）、全国土地改良事業団体連合会（会長・二階俊博和歌山県土連会長）が主催する『農業農村整備の集い－農を守り、地方を創る予算の確保に向けて－』が東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」で開催され、土地改良関係者や国会議員など総勢約1200名が参集（本県からは15名が参加）しました。

主催者挨拶として二階会長からは「参集の皆さんには日頃より土地改良事業推進のために懸命な努力をして頂いていることに心から感謝申し上げる。女性の参画や活動が大変重要視されているが、女性自身のやる気によって大変な成果を上げていただいている。土地改良の男女共同参画は今後しっかりと取り組んでいかなければならない」と述べられました。

続いて宮下一郎農林水産大臣からは「日本農業の大転換期に対応しつつ、生産基盤の強化をしっかりと進め農林水産業を成長産業化し、美しく豊かな農山漁村を次世代に継承するために今後も農地や農業水利施設等の整備、保全管理を担う農業農村整備事業を推進していく。食料安全保障の強化や防災・減災、国土強靭化対策に万全を期すことが出来るよう国に予算の確保に向けて全力で取り組んで行く」と述べられました。

また、土地改良事業の必要な予算の確保など10項目を訴えた要請文が全会一致で採択され、各県が県選出国会議員に対して要請活動を行いました。

《農業農村整備の集い》要請書　　-要請内容のみ記載-

記

一　土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。

二　食料・農業・農村基本法の見直しに当たっては、必要な規定を盛り込むとともに、関連する制度や事業・支援の一層の充実を図ること。

三　大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めること。また、災害対応のデジタル化など、事務手続の効率化等に向けた取組を推進すること。

四　農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進すること。

五　農村地域の国土強靭化のため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を引き続き推進するとともに、燃料価格や電力料金が高騰する状況下においても安定的な用水供給等が可能となるよう対策を推進すること。

六　ICT、AI等の先進技術を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化等を図る取組を推進すること。

七　中小規模の土地改良区を対象とした合併など、土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。

八　流域治水の取組推進に当たっては、関係する農業水利施設の管理者や田んぼダムに取り組む農業者に過度な負担や責任が生じないよう配慮すること。

九　水田活用の直接支払交付金の見直しに伴う水田の畑地化を進めるに当たっては、現場の実情を踏まえ、引き続き必要な措置を講ずること。

十　上記事項の推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮すること。

令和５年度 基幹水利施設省エネルギー化技術実践向上研修会の開催

令和５年11月15日（水）、松江市のホテル白鳥において、「令和５年度　基幹水利施設省エネルギー化技術実践向上研修会」を開催し、県や市町村、土地改良区の関係者４３名が出席しました。

昨今の世界的なエネルギー危機により、燃料価格は大きく高騰し、それに伴い電気料金も高騰し、揚水機によって灌漑している土地改良区にとって電気料金の高騰は運営を大きく圧迫しています。本研修会は基幹水利施設の管理者に対し、省エネルギー化に関する専門知識の取得と技術力向上を目的として実施しました。

はじめに、農林水産省農村振興局整備部水資源課施設保全管理室長の志村和信氏から「農業水利施設における省エネルギー化の取組促進」と題し、農業水利施設を取り巻くエネルギー情勢や省エネルギー化の促進に向けた制度対応等について説明がありました。続いて、サンスイコンサルタント（株）本社技術１部長の沢邊哲也氏より「斐川地区の省エネ化検討事例」と題し、斐川地区の揚水機場を例に省エネ対策手法の検討結果の報告をいただきました。最後に島根県農林水産部農地整備課主任の村田涼輔氏より「西潟ノ内排水機場の省力化事例」と題し、ＩＣＴ技術を活用した水管理システムの導入による維持管理の省力化について説明がありました。

本研修会で説明いたしました各事例が貴団体の省エネルギー化に向けた取り組みの一助になれば幸いです。

令和５年度全国水土里ネット女性の会研修会

11月８日（水）、全国土地改良事業団体連合会主催で東京都ビジョンセンター永田町にて、全国水土里ネット女性の会研修会が開催され、全国から水土里ネット女性の会会員等115名（しまね水土里女性の会から２名）が参加しました。この研修会は、将来に向け土地改良に関わる全ての人々が性別・年齢を問わず自らの能力を十分に発揮できる土地改良団体の環境づくりを目的とし、その取組の一環として開催されたものです。

研修会は、全国水土里ネット女性の会根本会長の挨拶で始まり、昨年度の同研修会でのアンケートにおいて要望の多かったアンコンシャスバイアスセミナー、ドキュメンタリー映画監督柴田昌平氏による「男女共同参画における伝えることの大切さ」と題し講義がありました。

アンコンシャスバイアスセミナーでは「ひとりひとりがイキイキと活躍する土地改良団体を目指して」と題し、一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所一ノ瀬史子氏によりグループ参加型の講義がありました。アンコンシャスバイアスとは略してアンコンと呼ばれ、過去の経験や見聞きしたことから無意識に“こうだ”と思い込むことです。

アンコンによるネガティブな影響を防ぐための対処法、誰にでも、自分にもありうるアンコンに気づき意識することの大切さ、「私」が今後も向き合い続けていくには等、各グループで様々な意見交換が行われました。

令和５年度　第２回しまね水土里女性の会研修会開催 ～in津和野～

11月２日（木）、津和野町にて、令和５年度第２回しまね水土里女性の会研修会が開催され、18名（正会員12名・準会員６名）が出席しました。

午前中は、農事組合法人『つつみだファーム』で法人の歴史や取り組んでいる活動について説明を受けた後、現地視察に移りました。鳥獣害防護柵を設置した果樹園やアスパラガスを栽培しているハウスを視察、アスパラガスに係る女性の業務などもあり、今後の女性理事起用にも前向きな意見がありました。

午後からは津和野町の下森町長も参加され、津和野町での本研修会開催を歓迎して頂きました。

続いて、津和野町土地改良区理事の水津会員からは、銀行員時代の管理職としての苦労話、心がけていたこと、苦情・クレームの対応など身近で分かりやすく体験を交えた女性活躍についての話題提供がありました。

その後、『女性の会研修会等の参加促進について』をテーマに意見交換会を行い、現状の課題や改善案をまとめました。

第66回通常総会・令和５年度土地改良功労者表彰式の開始時間が変更になりました！

変更後の開始時間は次のとおりです。（会員の皆様には時間変更のご案内を送付予定）

令和５年度土地改良功労者表彰式　：１３時３０分～
島根県土連第６６回通常総会　　：１４時２５分～
島根県農業農村整備推進協議会総会：１５時３０分～（対象：市町村のみ）

12月の主な予定

開催日	行　事　等	開催地
12月6日(水)～7日(木)	農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム	東京都

水土里ネット島根　（島根県土地改良事業団体連合会）
〒690-0876　島根県松江市黒田町432-1　島根県土地改良会館　TEL 0852-32-4141
ホームページhttps://www.shimanedoren.or.jp/　メールsmndoren@shimanedoren.or.jp